



更女だより

令和7年3月
第24号(最終号)

妙高地区更生保護女性会

更生保護女性会の目的

母性愛の精神をもって、犯罪者並びに非行少年に対する更生保護活動に協力し、力を合わせて犯罪予防のために世論の啓発に努め、健全なる青少年の育成を促進し、地域活動に寄与することを目的としています。

あいさつ

更生保護女性会 会長 池田俊子

妙高地区更生保護女性会は令和6年度3月を持ちまして解散となりました。昭和54年(1979年)から今日迄、45年間活動して来ました。その中で歴代会長さん方には立派にその責務を遂行していただき、誠にありがとうございました。また、地域の皆さんには、暖かな御協力御支援をいただきました。特にフリーマーケットを開催する際には、家庭に眠っている不用品を惜しみなく提出して下さったことです。何年も続けました。心から感謝です。収益金は更女会の活動費に充てられ搬出から値札付け、そして商品を配置し、売り出しを開始しました。良い物は片っ端から売れました。大変なこともありましたが、楽しいことの方が多かった・・・。

そしてコロナ過で貧困家庭が増え、フードバンクなるものが出現し私達も、お米などを持ち寄り、2度程届けたこともありましたが、枚挙に暇がありません。

さて、活動を共にした保護司の方々には、矯正施設(刑務所)への施設研修(埼玉、石川、群馬、新潟、長野など)が毎年行われ(コロナ時は中止)お世話になりました。

直江津、長岡、新潟、遠くは東京迄研修に。色んな方々と交流し、楽しく話し合いをしたことは、鮮明に脳裏に焼き付いています。

末筆ながら内田弓子さんの寄稿文をようやく載せて皆さんに拝読してもらうことができました。もっと早く載せていただくべきでしたのに本日迄、ご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げますと共に資料などと共に関山の更女会の歴史を正確に明記して下さり感謝のみです。ありがとうございました。

そして最後に、関係諸機関の皆様お世話になりました。

令和6年度のおもな活動

4月	8日	地区役員会	妙高支所
4月	9日～12・15日	春の挨拶運動	地区内通学路
4月	23日	地区更女便り印刷	妙高ふれあいパーク
5月	10日	地区総会資料印刷	妙高ふれあいパーク
5月	15日	地区役員会	妙高支所
5月	20日	上越ブロック代表者委員会	直江津学びの交流館
		県更女便り特集号編集委員会(第一回)	直江津学びの交流館
5月	27日	地区役員会	妙高支所
5月	31日	地区総会	関山コミュニティーセンター
6月	14日	地区役員会	妙高支所
6月	25日～26日	保護司会と視察研修	川越市
8月	6日	地区役員会	妙高支所
8月	21日	上越ブロック代表者委員会	直江津学びの交流館
9月	12日	県更女の集い(70周年記念)	新潟ユニゾンプラザ
9月	24日	県更女便り特集号編集委員会(第二回)	直江津学びの交流館

9月	24日～27・30日	秋の挨拶運動	地区内通学路
10月	15日	地区役員会	妙高支所
10月	29日	新井地区更女と交流会	妙高支所 3F
11月	1日	県更女便り特集号編集委員会(第三回)	直江津学びの交流館
11月	8日	県保護大会(75周年大会)	阿賀町文化福祉会館
11月	25日	地区役員会	妙高支所
12月	5日	県更女便り特集号編集委員会(第四回)	直江津学びの交流館
1月	20日	地区役員会	妙高支所
2月	21日	上越ブロック代表者委員会	直江津学びの交流館
		県更女便り特集号編集委員会(第五回)	直江津学びの交流館
2月	26日	地区役員会	妙高支所
3月	6日	第二回理事会	新潟保護観察所
3月	12日	地区更女便り印刷	妙高ふれあいパーク
3月	24日	地区会計監査、総会資料印刷	妙高ふれあいパーク

妙高村時代の更婦をふり返って

内田弓子

昭和54年当時保護司さんの、ご協力により妙高村更生保護婦人会を結成しました。会員は少数でしたが一人一人に「更生保護」とは何か何をなすべきか、目的量を理解していただくために私が会長を引受けた平成11年3月に前会長と共に「更婦だより第1号」を発行する運びとなりました。発行にあたり村の保護司3人のお宅にお邪魔し、取材をさせていただきました。又、人権擁護委員やワイワイクラブのお母さん、保育園に携わる保育士(当時は保母さん)、駐在所所長さんに子育て支援についての意見、要望をお聞きし、広報、啓蒙活動に役立たせていただきました。運動月間では、保育所、各小学校を回り活動の趣旨をお話しをし、協力に回りました。更婦はボランティア活動ではありますが、社会の一員として非行や犯罪に陥った人達の更生への支援活動を重ねるたびに、更生への一役を担っているほこりを持って活動を続けていました。さて、妙高村更生保護婦人会では、地区の集いには会員交替で参加し、講師の先生方の講演や地区更生保護婦人会の方々の実績発表を聞くようになりました。又、毎年事業計画の中に、刑務所の視察、少年院のボランティア等を折り込んでおりますが、もっと会員増強を図り機能の向上を高めることを目標として、関係団体と連携を図りながら非行や犯罪のない明るい安心して住みよい社会づくりに努力して参りたいと思います。次代を担う少年を非行から守り、社会のルールを守り、思いやりのある健全な少年に育成することが私達大人の願いであります。妙高村の更婦では、板倉町更婦との交流会も図り、明治神宮で開かれた全国更生保護婦人の集いでは、森山真弓法務大臣をお迎えし出席させていただきました。なつかしい思い出の一つであります。又、印象に残ったのは鐘の鳴る丘「有明高原寮」を訪れた時のこと、保護司、更婦会員を乗せたバスが緑の中を走り抜けると少年たち7～8人が麦わら帽子をかぶり、畑仕事に精を出していた。緑の丘の赤い屋根;とんがり帽子♪の時計台……の詩で始まるNHKラジオドラマ「鐘の鳴る丘」の主題歌が口に出てきました。少年保護施設として大正8年中房温泉から引き湯した温泉旅館を現在地に建築、この旅館を司法保護団体「松本少年学院」が買収し、少年保護施設として運営、これがNHKラジオ「鐘の鳴る丘」のモデルとなったのです。院生27名、職員21名、恵まれた環境の中でキメの細かい指導がされている。一年の行事のなかでも、昨年で21回目を数えた地元のママさんコーラスとのジョイントコンサート、9月の運動大会には、住民と一緒に走ってこれこそ地域と一体となって、社会生活に適用できる健全な少年に、はぐくんでのいる姿と実感しました。最後に院生の詩を紹介します。(当時平成14年9月)

「握手S.1生

面会に来てくれた父さんと母さんに生まれて初めての別れの握手をした。

母さんの手は震えていた、父さんの涙を初めて見た、反発ばかりしていた

母さんに「頑張るよ」と素直に言えた、何かが変わったと思った

渡り廊下で空を見ると青空に白い雲が浮かんでいた、涙が止まらなくなった、父さん母さんごめんなさい。」

参考資料として内田弓子さんより、いただきました。

歴代会長	笹川 キン
	大久保 カズエ
	望月 トモ
	宮下 文江
	内田 弓子
	望月 三四四
	内田 栄子
	(敬称略)

結成70周年記念・第42回「新潟県更生保護女性の集い」に参加して

内田美佐子
「更女の集い」は9月12日約360名の参加、新潟のユニオンプラザで開かれました。記念講演は法務省矯正研修所元所長の紀・恵理子氏の演題「こころをはぐくむ」でした。副題の「健全育成と再犯防止のために」難しい課題ですが、この時代だからこそ手を取り合い、温かで明るい地域のために尽くしたいと思いました。

次に各ブロックの活動報告、主なものは上越地区から、保護観察中の少年少女、児童擁護施設の児童と共に調理し、楽しくいただく「ちょっとおしゃれにランチ」、中越地区からは新潟少年学園でのミニコンサート「ほほえみコーラス」の模様、下越地区は「奈良少年刑務所詩集」より何編かの詩の朗読でした。どれも困難を抱えた人への、架け橋になりたいという想いが溢れ、涙になりました。「くも」と題する一行の詩 空が青いから白を選んだのです。作者の母の最期の言葉「つらいことがあったら、空を見て。そこに私がいます」から生まれた詩だそうです。胸に残る忘れられない一日になりました。

更生保護活動に参加して

望月三四四
私は更生保護については、何も知らなかったのですが誘われて会員になり、あれから何年過ぎたでしょうか。でも他の地区の女性会の活動や保護司さん活動を知るたびに大きな仕事だと痛感しました。色々な行事に参加しましたが、特に印象に残っているのは刑務所の視察と少年院の奉仕活動です。名札付けの仕事が終了した後には少年たちの要望で「ふるさと」を全員で合唱した事が今も心に残っています。

いつの時代も、安心して暮らせる世の中になってほしいです。

埼玉県川越少年刑務所視察研修

山田香代子
コロナ流行のため、しばらくできなかった視察研修を、保護司会よりお誘い頂き参加させて頂きました。参観の前に被収容者の平穏な生活や心情を害するような言動を慎み、職員の誘導、指示に従って行動することを約束して、緊張しながらも若い収容者の皆さんの学び、働く姿に目が引きつけられました。パソコン、漢字検定をめざして勉強する人、車の修理塗装、技術を身に付けるために真剣にとり組む人、外の庭では花壇を作って、種から育てた花を沢山植えておりました。若者達がそれぞれの理由でここに収容されて、社会の中で必要とされるきまりを学び、技術や知識を習得し、社会復帰を目指している姿に、受け入れる社会の優しい理解と協力の必要性を強く感じました。

今回、視察研修に参加させて頂いたことに感謝致しております。

更生保護大会に参加して

池田俊子

11月8日、阿賀町文化福祉会館で開催されました。随分遠くへ来たものだ……と。山に囲まれたとてもこじんまりとした素敵な町でした。大会に入り映像で文化、歴史、自然など知ることができ、人口1万人弱、水がきれいで特産がお米とお酒ということ、そして狐の嫁入行列の素晴らしさ大名、腰元の人数の多さステージでは園児の子狐の踊りもかわいい、その日は町中が狐でひしめき合い1つにまとまってクライマックス、きりん山での婚礼の儀式、想像しただけでドキドキしてしまいます。町を挙げてのイベント、狐の嫁入りに拍手喝采です。是非、今度は本物を見物したいです。その日は観光客と町民がみんな狐になるんですね、素晴らしい。そして表彰式では、皆さんの自信あふれる表情の保護司さん更女の皆さんの顔がありました。また、阿賀町の町長さんの挨拶、保護観察所長、保護司会連合会会長さんのお祝いのメッセージなど、どれもみな素晴らしかったです。万歳三唱後、会場を後にいたしました。

令和6年度更生保護女性会BBS会新会員研修会

山田香代子

11月22日、直江津学びの交流館にて実施されました。参加者は11名、十日町津南、南魚沼、柿崎、直江津、高田、板倉、妙高と広範囲の会員が3グループに分かれてグループ討議を行いました。各地域の活動状況が報告され、更生保護施設への支援、草取り、施設の清掃、昼食作り、雑布のプレゼント等々様々な活動が報告されました。

最後に新潟保護観察所の鈴木先生から、更生保護とボランティア活動についてのお話がありました。犯罪や非行をした人を社会の中で適切に処遇し地域社会の理解と協力を得て、これからの人達が自立し更生することを、「助ける」ことにより安全安心な社会をつくることができ、更生保護女性会、BBS会の活動の重要性を教えて頂きました。

畑山廣子さんの呼吸法による体操

《10月29日妙高支所3階で初めて新井さんを、お招きしての交流会》

畑山先生の関山弁丸出しの気取らない指導の中新井さんの皆さんはもう、すっかり雰囲気には溶け込み、会場はやさしいCDの曲とほほ笑みのみ。途中の水分補給をしたり、個人的に先生のアドバイスえを受けたり和気あいあい。楽しい時間は瞬く間に終了。短い時間でしたが、新井さんからたくさん参加していただき感謝感激です。

畑山先生、新井、関山の皆さんありがとうございました。

池田俊子



《 編集後記 》

更生保護女性会は、昭和24年9月にオパール婦人会として発足し、変遷を重ねて今日まで脈々と受け継がれて来ています。会の主旨にもある母性愛の精神を理念に心ひとつ数多の方々と協力し親交を深め、犯罪のない安心安全な明るい社会に向けて出来る時に出来る事をより大きな和と輪でつながり共にボランティア活動をしている会ですが、余り知られていないようです。

令和7年の干支は60年に一度乙巳(きのと み)で成長と進化、努力を司りこれまでの努力が新しい形で結ばれる年だそうです。平穏無事で1年過ごせます様に。

担当 手塚洋子